



北海道 造形教育 連盟報

No.142 2016.7.1発行

発行 北海道造形教育連盟

会長 三井 哲 (札幌市立北白石小学校長)

事務局長 阿部 時彦 (札幌市立真駒内曙中学校長)

事務局 札幌市立真駒内曙中学校
〒005-0018

札幌市南区真駒内曙町2丁目1番2号

TEL(011)582-1642・FAX(011)582-9509

北造連HP <http://hokuzou.kir.jp>



次の時代に向かう実践を求めて

北海道造形教育連盟

会長 三井 哲
(札幌市立北白石小学校長)

平成28年度の一学期が終わりを迎え、北海道の短い夏が訪れています。毎年この時期に開催される全道造形教育研究大会では、多くの仲間と出会い、造形の授業や造形教育の未来について語り合ってきました。そして今年の夏は、各部・各セクションの協議が進み、その骨格や内容が次第に明らかになってきた次期学習指導要領を見据え、次の時代に向かう研究協議を全道造形教育研究大会札幌大会で繰り広げたいと思います。

平成26年11月20日に「初等中等教育における教育課程の基準の在り方について」諮問された当初から『アクティブ・ラーニング』が注目され、学習指導要領にどのように示されるのか関心を集めてきました。決まったやり方や方式ではない『アクティブ・ラーニング』を、私たちはどのように捉えて実践していくのかを考えていく必要があります。

中央教育審議会のこれまでの協議の中で『アクティブ・ラーニング』は教科共通に理解できる「対話的な学び」「主体的な学び」に加えて、教科の特質

が色濃く表れる「深い学び」が強調されています。この「深い学び」の鍵となるものとして、各教科の特質に応じて育まれる「見方や考え方」が重要ではないかとの検討が進められています。

私たちが、図画工作科や美術科の授業で、この『深い学び』をどのように実現するのかという課題が見えてきました。図画工作科や美術科における「見方や考え方」とは何か？という問いも生まれてきます。私は、これらの課題や問いを探究することは、図画工作科や美術科の本質に迫る深い内容があるのではないかと感じています。そして、私たちには、これからの実践において、汎用的な資質や能力と教科の特質が持つ資質や能力を育成し、図画工作科や美術科の価値を一層高めることが求められます。

そのような意味で、第66回全道造形教育研究大会札幌大会では、子ども一人一人の学びに注目して参加された方々と議論を深め、来るべき未来につながる第一歩としていきたいと思います。

北海道造形教育連盟役員・本部事務局

- 会長 三井 哲 (札幌市立北白石小学校長)
- 副会長 橋詰 博 (札幌市立簾舞中学校長)
- 副会長 小野三枝子 (釧路市立共栄小学校長)
- 副会長 池田 元治 (千歳市立北陽小学校長)
- 副会長 菅原 良和 (旭川市立嵐山小中学校長)
- 副会長 仲井 靖典 (函館市立的場中学校教頭)
- 監査 加藤 雅子 (札幌市立栄東小学校長)
- 監査 杉山 浩彰 (釧路市立青陵中学校)
- 事務局長 阿部 時彦 (札幌市立真駒内曙中学校長)
- 会計 岡田 知之 (札幌市立南月寒小学校長)
- 会計次長 東 尚典 (札幌市立三里塚小学校教頭)
- 事務局次長 八田 博之 (札幌市立富丘小学校)

- 事務局次長 箭内 浩之 (札幌市立みどり小学校)
- 事務局次長 松本 和彦 (札幌市立屯田南小学校)
- 事務局次長 川島 正夫 (札幌市立新琴似小学校)
- 事務局次長 平井 歩 (札幌市立啓明中学校)
- 研究部長 湯浅 大吾 (札幌市立三角山小学校)
- 副部長 森實 祐里 (札幌市立星置東小学校)
- 副部長 館内 徹 (札幌市立西岡中学校)
- 副部長 石川 早苗 (札幌市立八軒東中学校)
- 副部長 中村 珠世 (道教大附属札幌小学校)
- 庶務部長 本間 真理 (札幌市立西園小学校)
- 副部長 森 久根 (札幌市立西野小学校)
- 広報部長 櫻田 悟 (札幌市立盤溪小学校)
- 副部長 小林 知広 (札幌市立手稲山口小学校)



「第66回全道造形教育研究大会 札幌大会」に期待するもの

北海道造形教育連盟

研究部長 **湯浅大吾**

(札幌市立三角山小学校)

2011年「“わたし”を創る～自立と共生の造形教育をめざして」の下行われた、「全国図画工作・美術教育研究大会in北海道」から5年が経ちました。来る2021年にまた北海道の地で行われるであろう全国大会を視野に入れ、新しい北海道造形教育連盟の研究主題を設定しました。今回も研究主題設定に当たっては、北海道造形教育連盟のメーリングリストを活用して全道の仲間たちが意見を交流しました。その中では、2019年に施行される小学校及び中学校の新学習指導要領の動向が話題になりました。いくつかキーワードが挙がりましたが、その中でも「主体的・協働的学び」に特に注目しました。これまでの研究主題では、「一人一人の“自立した学び”」が成立することで、お互いを共感的に受け止める“共生の学び”が成立するという仮説の下、研究を進めました。しかし、前回の研究主題の成果と課題を検証し新学習指導要領で求められる教育の在り方を交流する中で、「協働的な学びが一人一人の自立を促す」という自立と共生が双方向の関係にあるという、新しい視点に立つことができました。

そこで、北海道造形教育連盟の新研究主題を、

**“わたし”を創る
～今を生きる、共に生きる
造形教育をめざして**

としました。

全道の校長先生方からは、「学力の向上が教育の課題となっている今、造形教育で培われる力とはいったい何だろう。」ということが話題になりました。フランスの文化人類学者クロード・レヴィ＝ストロースは、著書「野生の思考」の中で、素材や技術の思いもかけない新領域への適用や限られたリソースを駆使して高い付加価値を有するものをつくり出すことを「プリコラージュ」と呼び、近代以降の「エ

ンジニアリング」の思考＝「栽培された思考」と対比させ、人類が古くからもっている知であり、近代社会にも適用されている普遍的な知の在り方だと述べています。また、教育学者である上智大学の奈須正裕氏は、図画工作の「材料を基に造形遊びをする」では、あらかじめの意図や計画ではなく、材料との間にその都度生じるたぶん偶発的な出会いと、その子どもによる闊達自在な必然化や絶えざる繰り返しにより、美的な創造の営みが展開されていく。そこでは、本来異なるカテゴリーに属するもの同士を独自の視点や理路により大胆に「つなげる」「見立てる」「たとえる」といった思考の様式が豊かに作動している。要素技術の思いもかけない新領域への適用や限られたリソースを駆使して高い付加価値を有する商品開発をする場合など、知識基盤社会での新たな知や価値の創造において、「野生の思考」が豊かに発揮され、目覚ましい成果を挙げていることは疑いの余地がない。それは産業社会を支えてきた近代合理主義に基づく一方的で等速直線運動的な発想や構想の様式とはすっかり異なるものであり、従来の学校教育がおよそ明晰な意図をもってしっかりと育てこなかった類いの思考と言えよう。造形遊びに潜在するこのようなコンピテンシー育成の可能性について、当の図画工作科が十分に自覚的でなく、現状ではそこで培われている豊かな発想・構想の力が美的造形以外の対象にも発動されることを想定しきれないのは、何とももったいないことである。もし、この可能性が十分に追求され、さらに応分の成果を確認されたならば、図画工作科にはその成果に応じた時数を含むリソースの確保が検討されてしかるべきであろうと述べています。時数が少ない中ですが、カリキュラムの中に多様な造形体験が盛り込まれていることが、「プリコラージュ」の資質能力を育てるためには不可欠になってきます。

今回札幌大会でこの新研究主題の下、全道造形教育研究大会を行えることに大変期待をしています。皆さん、7月28・29日は是非新陵東小学校に足を運び、造形教育の在り方を学び合おうではありませんか。



大会テーマ
“すき”が輝く造形活動



語り合いあり 題材屋台あり ☆詳しくは：北海道造形教育連盟HP



大会シンボルマーク
開拓使のシンボル「赤い星」
～時計台に付いている札幌のシンボル
～記念すべき第66回を、寄り添う子どもの笑顔に大変身。
～札幌で語り合える研究会へ！
作成：札幌市立石山南小：濱口 裕子

会場
札幌市立新陵東小学校
(札幌市手稲区新発寒5条4丁目2番1号)

子ども ありきの 研究会
目の前の子どものために、

講演

演題「造形教育の未来を考える
～新しい時代と社会に開かれた教育課程の視点から～」
講師 **東良 雅人 氏** (教科調査官)

我々教師は何を?!

みなさんで 語り合いましょう!!SAPPOROで!

【題材名&授業分科会一覧】

	校種	学年・領域	タイトル	授業者・発表者	助言者
①	幼稚園	年長 プレゼン・提言	子どものまなざしで ～造形遊び・ごっこ遊び～	白楊幼稚園 上田 克美 教諭	阿部 宏行 北海道教育大学教授 篠原 寛 元西小校長
②	小学校	3年 A表現(2)	クリスタル星の仲間たち	稲積小学校 三浦 真奈美 教諭	今 裕子 元福住小校長 菅原 清貴 元幌西小校長
③	小学校	2年 A表現(2)	ようこそ!空の国へ!	星置東小学校 篠原 貴 教諭	益村 豊 元資生館小校長 平向 功一 大谷大学准教授
④	小学校	3年 B鑑賞(1)	感じて!ココロの形・色	円山小学校 菊地 惟史 教諭	土井 善範 元光陽小校長 稲貴 順 元旭小校長
⑤	小学校	3年 A表現(1)	つないでいくと…	伏見小学校 佐藤 和音 教諭	櫻田 豊 元八軒西小校長 安木 尚博 札幌学院大学教授
⑥	中学校	3年 A表現(1)	15歳の自我像 ～〇〇を見つめる瞳	琴似中学校 武井 りえ 教諭	富田 賢司 元札幌北中校長 塚野 昭臣 元向陵中校長
⑦	特別支援	特別支援 ポスター発表	一人一人の窓から見る 造形活動	稲穂中学校 久蔵 美和子 教諭 (他2校)	東良 雅人 教科調査官
⑧	小学校	4年 A表現(1)	開くとそこにある 自分だけの宝物	北都小学校 矢野 宜利 教諭	
⑨	中学校	1年 A表現(1)	TOWER OF LIFE ～人生の塔～	あいの里東中学校 寺林 陽子 教諭	

【7月28日(木) 1日目】

8:30	9:00	9:40	9:50	11:05	11:15	12:30	13:30	14:20	14:40	16:30	18:30	20:30
受付	開会式 授業説明 (体育館)	移動	公開授業 ②～⑥ 実践発表 ①・⑦	移動	分科会 ①～⑥	昼食	公開授業 (体育館) ⑧⑨	準備	講演 東良 雅人氏 (教科調査官)	移動	参加者交流会 大会引継ぎ式 (サッポロビール園)	

【7月29日(金) 2日目】

8:30	10:00	12:00	12:20
準備	題材屋台村 (体育館)	閉会	

第43回 北海道教育美術展のお知らせ

◇作品のご応募をお待ちしています！

幼稚園・保育所・こども園、小・中学校の授業から生まれた作品をお待ちしております。絵画や版画、デザイン画などの作品をご出品ください。

四つ切大の作品を規定(小学生以下)としていましたが、授業時数を踏まえ、高学年は八つ切り大の作品でも応募を可能としました。

近年、貼り重ねたり、開いて見たりするなど、多様な表現の方法が見られます。展覧会で掲示されてもはがれたり破れたりしない作品をご出品ください。

締切（12月中旬）や応募先など詳細は9月頃に各園・各校に送付いたします。

◇審査研修会にご参加を！

全道から集まる2万点近くの作品を見て、そのよさや作品に込められた思いなどを話し合う審査研修会は、造形教育に携わる教師の絶好の研修の機会となります。幼稚園から中学校までの作品を見て、全道各地の先生方と語って研鑽を深めませんか。12月27日(火)28日(水)の日程で行われます。ご都合をつけられ、ぜひご参加ください。

◇展覧会もご来場ください！

奨励賞及び入選作品600点以上を一堂に展示する作品展も、貴重な研修の機会となります。お近くにお越しの際は、ぜひ足をお運びください。

会期 平成29年1月7日(土)～1月10日(火)

会場 道新ぎやらりー及び道新DO-BOX（札幌市中央区大通西3丁目）



空知美術教育研究会

事務局 舘山 唯郎

第68回全道造形教育研究大会岩見沢大会に向けて

空知美術教育研究会の発足は、1964年（昭和39年）の春までさかのぼります。

理論だけでなく「本当に子どもを語るような素朴で直接的な話し合い」を望み、「全空知子どもの作品を語る会」が誕生することになりました。

記念すべき第1回「全空知子どもの作品を語る会」を栗沢町立栗沢小学校（現在の岩見沢市立栗沢小学校）で開催、その主催団体として「空知美術教育研究会」が発足したのは、それから5年も後のこととなります。

このように、研究会の発足よりも、研究大会である『語る会』の方が歴史があるという事実は、今でも「理論よりも実践」という会の伝統となり、今年の大会も53回目を迎えるまで、1年たりとも休まず開催され続けています。

そういう歴史を経てきた「空知美術教育研究会（空美）」は、2018年度（平成30年度）に行われる第68回全道造形教育研究大会岩見沢大会においても空美



の基調を踏襲して行われていくと思います。

空美は退職や研究会離れによる会員の減少が進む中、総会員数は50名程度と少なくなっていますが、新規会員もちらほらと見られます。札幌大会、釧路大会に

続いての開催ということで、研究会はもうすぐそこまで来ていますが、会員数相互協力しながらみなさんが来てよかったと思ってもらえるような研究大会にするべくがんばっていきます。



あ と が き

2016年度がスタートしました。今年から道の研究も再出発。連盟報もリニューアルしました。ページ数は削減しましたが、中身は濃く、皆さんとの造形の絆を深めていきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

さて、今月末は札幌大会。みなさんと授業を通して交流を深めていきたいと願っています。

<北海道造形教育連盟 広報部> 櫻田 悟・小林 知 広